

デザインの  
モノがたり

2

ルリイロピッチャーSET 9,450円  
(ピッチャー4,200円、グイノミ2,625円×2)  
有限会社 瑠璃庵 tel.095-827-0737 長崎市松が枝町5-11

urian 検索

竹田さんは何枚ものデザイン画を描いては作り、水きれの良さを試した。ガラスは千百度という高温から生まれるため、作っている最中にやり直すことはでき

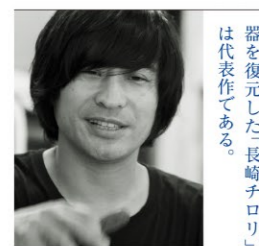
かと思つて」。竹田さんは何枚ものデザイン画を描いては作り、水きれの良さを試した。ガラスは千百度という高温から生まれるため、作っている最中にやり直すことはでき

ない。注ぎ口の角度を決めて、形を作る時間はなんと一秒未満。ほんの一瞬の勝負だ。竹田さんはこのスピード感と、素手でさわれないことの面白さをガラスづくりの魅力だと話す。

大切にしていることは「いかにシンプルで、使いやすいか」。様々なものをそぎ落とし、必要なものだけを残してゆく。行われているのは足し算ではなく、常に引き算だ。それは竹田さんの人柄にも表れていて、話しているとき、ただ好きなことをひたすらに続けてきた人だけが持つ、真っ直ぐな一本の線のようなすっきりとした力強さを感じる。

作品の魅力はその色にもある。江戸時代、世界に開かれていた長崎には多くのガラス職人たちがいて、彼

らが作ったものは「長崎ガラス」と呼ばれ、長崎の名産として全国へと広まった。そして現在、発掘されている長崎ガラスの多くが美しい瑠璃色をしているという。江戸時代の人たちが愛してやまなかった色。それを再現し、現代の人へとつなぐ。瑠璃色にはそんな想いも込められていた。



一九七二年福岡県生まれ。十一歳の時に長崎市へ移住。十八歳の時、父が営む「瑠璃庵」でアルバイトを始め、すぐにその魅力に心を奪われ、すぐに長崎の道へ進み、現在に至る。長崎ガラスが生まれた場所。ガラス職人を続けることに深い意義を感じていることから、日常食器の他に、長崎くんちの籠の目や川船の網などの制作にも携わっている。十八世紀頃に長崎で作られていたといわれる長い注ぎ口が特徴の冷酒用酒器を復元した「長崎チロリ」は代表作である。

竹田礼人  
有限会社 瑠璃庵

ルリイロ  
ピッチャーSET

緩やかなラインが印象的な瑠璃色の涼しげなピッチャーは、手にしつ

くりと馴染む。水を入れ光が当たると、また違う表情を見せるのも魅力だ。

デザインしたのは、吹き

ガラス工房「瑠璃庵」の二代目、竹田礼人さん。作品を作るきっかけとなったのは、飲食店の容器を見たときだったと話す。「お店にある容器って、醤油さしやピッチャーなど、そのほとんどが液だれしますよね。どうにかして液だれしない容器をガラスで作れないものかと思つて」。

竹田さんは何枚ものデザイン画を描いては作り、水

きれの良さを試した。ガラスは千百度という高温から

生まれるため、作っている最中にやり直すことはでき

ない。注ぎ口の角度を決めて、形を作る時間はなんと

一秒未満。ほんの一瞬の勝負だ。竹田さんはこのスピード感と、素手でさわれない

ことの面白さをガラスづくりの魅力だと話す。

大切にしていることは「いかにシンプルで、使いやす

いか」。様々なものをそぎ落とし、必要なものだけを残

してゆく。行われているのは足し算ではなく、常に引き

算だ。それは竹田さんの人柄にも表れていて、話してい

ているとき、ただ好きなことをひたすらに続けてきた人

だけが持つ、真っ直ぐな一本の線のようなすっきりとした

力強さを感じる。

長崎デザインアワード2012

入選

冷酒、水、ドレッシング…  
使い方は十人十色。  
シンプルで注ぎやすい  
長崎らしき満点のガラス作品

※「長崎デザインアワード」とは、県内で企画、開発された商品の中から優れたデザインを選定・表彰し、県内企業のデザイン開発意欲やデザイン力の向上に寄与することを目的として開催している。